

映像	内容
タイトル VTR	オープニングタイトル
スタジオ	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さて、8月！夏休みシーズンですね。</p> <p>田村： そうですね。</p> <p>廣川： 夏の楽しみとか、予定とかありますか？</p> <p>田村： 今のところ何も予定してないですね。まだ子供小さいし 夏休み感はあるけど、保育園は休みになるのかな？</p> <p>廣川： 休みになるんじゃないですか？</p> <p>田村： 保育園、休まないの？ それも知らん（笑） 保育園、休まないんや。あ、でもそうか。 そうしてもらわんと生活できへんもんね。</p> <p>廣川： お子さん連れて何処か行けたらいいですよ。</p> <p>田村： そうですね。何処か連れて行ってあげたいですね。 どうされるんですか、夏は？ どうせ…</p> <p>廣川： 「どうせ」？</p>

田村：

ピクニックでしょ？ 夏っぽいもの一通り押さえるでしょ？  
海も行くし、川も行くし、キャンプも行くしって感じでしょ？

廣川：

一通り総なめしようかなと思ってますけど。

田村：

ほんまに何するんですか？

廣川：

でも、海はもう行きました。  
友達と友達の1歳半の子供を連れて、ちゃぶちゃぶ程度ですけど。  
でも、また海はもう1回行こうかなというところですね。

田村：

絶対行くと思います。廣川さんなら。

廣川：

皆さんも夏休みいろんな計画があるかと思いますがけど…、

田村：

BBQ もやるんでしょう？

廣川：

BBQ もしたいですねー。

田村：

絶対やると思う。

廣川：

計画しようと思います。

田村：

季節もん押さえな気がすまへんでしょ？

廣川：

そうですね。花火もせなあかんし、浴衣も着なあかんし、忙しいですね。  
夏を大満喫したいなというところなんですけど。  
子ども達も夏休み中ですから夏を満喫してる方も多いと思いますけど、  
今回の特集なんですけど、夏休み中のお子さん必見でございます。

なんと吹田を飛び出して、自然豊かな能勢町でカブトムシ採りに挑戦するという企画です。

田村：  
能勢？ へえ～。

廣川：  
カブトムシ採ったりはしましたか？

田村：  
行ってましたけど、そんな捕まえた記憶ないなあ。  
友達が持ってて羨ましかったな～くらいで。  
でも、カブトムシの幼虫とかを見つけて持ってた気はするなあ。

廣川：  
「気はする」(笑)

田村：  
ほんま申し訳ないですけど、ホームレス経験のインパクトが強すぎて他の記憶が薄いねんなあ。

廣川：  
強烈ですもんね。その夏休みが。

田村：  
そうなんですよね。でも、全くおらんことはないですよ、吹田市に。  
クワガタとか捕まえてるやついましたよ。カブトムシとか。

廣川：  
今回は能勢町に行くとのことなんですが。

田村：  
能勢は自然豊かなイメージですもんね。

廣川：  
そうなんです。はたして、カブトムシは捕まえられたんでしょうか？  
ご覧ください。

VTR

ナレーション

子ども達にとっては夏休み真っ只中！  
今年の自由研究のテーマは決まりましたか？  
休みの日はあっという間に過ぎ去りますよ！

そこで今回の特集は、吹田市を離れ、能勢町で昆虫採集に挑みます。

りぴ：

うわ！すげー！すげー！

ナレーション：

今年の自由研究はこれで決まり！「そうだ！カブトムシをとりに行こう！」

とき：

カブトムシ取りに行こか～！

りぴ：

どうも！芸歴1年目。ときりぴーとです。

2人：

お願いしまーす！

ナレーション

ということで今回、ときりぴーとの二人が訪れたのは大阪府豊能郡能勢町。  
吹田市とはフレンドシップ協定を結ぶこの能勢町は、田園、棚田などの  
日本の原風景が残る緑豊かな町です。  
都市近郊にありながら、四季折々の自然や動植物に出会える里山として  
人気を集めています。

りぴ：

実は僕、虫が苦手で一応Tシャツにカブトムシをプリントしたやつを  
着てきたんですけど…。

とき：

僕は全然虫いけるんで、今日カブトムシとかと触れ合って、  
虫好きになっていきましょう！

りぴ：

なるほどね！それならいけそうやね。

ナレーション

まず二人が向かったのは、フジコン・ワールドインセクツ・ショップ。

二人：

こんにちは！ここの店長さんですか？

有本智久店長：

はい。

りび：

ここって早速虫がめちゃくちゃいるんですけど、どういうところですか？

店長：

そうですね。虫の総合商社みたいな。

二人：

総合商社？

店長：

虫やら、それに関連する用品ですね。

餌、マット、ケースなど全般に売ってるお店です。

りび：

お店の中に沢山のクワガタとかカブトムシがいるんですけど、全部国産のものなんですか？

店長

いや。国産だけではなく、外国のカブトムシやクワガタがいます。

とき

なんか人気のカブトムシとかっているんですか？

店長

いますね～。あの後ろにもいますけど…。

ナレーション

そこで、フジコンさんで取り扱っているカブトムシの人気ベスト3を教えてくださいました。

ときヲ

第3位は「アトラスオオカブト」

ナレーション

フィリピンやインドネシアに生息するアトラスオオカブトは  
3本ツノのカブトムシ。ギリシャ神話のアトラを語源に持つ誇り高き  
カブトムシです。

りび

第2位は「コーカサスオオカブト」。デカすぎやろ！

ナレーション

インドネシアの熱帯林に生息するこのカブトムシは大きな3本ツノを持ち、  
闘争心が強いことで有名。暑さに弱く、飼育は少し難しいとされています。

とき：

第1位は「ヘラクレスオオカブト」

ナレーション

世界最大級のカブトムシとして、子供にも大人気。  
中南米に生息し、18センチ以上の生体も存在します。  
こちらのお店では、現在幼虫も育てているということで見せて頂きました。

とき

え！幼虫おるんですか？

りび

なんで嬉しそうなんちょっと！

とき

見てみたいやろ！

りび

まじで無理や！幼虫？ まじか！固そう！

店長

まだまだ小さいんです。

りび

え！これ小さいの？このサイズで？ 気持ち悪い。気持ち悪っ！

とき

触らしてもらえよ1回。

りび

うわ！よう見たら足が…。

とき

動いてるわ。

りび

ほんまにやめろ。硬っ！硬い！硬いねん、思ったより。

ナレーション

そうこうしているうちに日も暮れ、出発の時間に。

とき

ちなみに、どういった格好が適しているんですか？

店長

できれば長ズボン、長袖、軍手。

りび

すごい厚着で。僕らみたいなん一番アウトですね。帽子とかもですか？

店長

そうですね。帽子を被らないと木から落ちてきたムカデとか…。

りび

ちょっと待って。聞いてない虫が出てきた。  
カブトムシだけじゃなくって、ムカデとかも？

とき

ちなみに一番怖い動物というか虫というかなんですか？

店長

そうですね。オオスズメバチ！

りび

スズメも出んの？オオスズメバチ！

とき

スズメいうの？お前。

りび

スズメの方がええよ！オオスズメバチ！まじか！  
めちゃうちゃ厚着していきます！

とき

というわけで、こういう格好になりました！どうですか？店長！

店長

まあ、白はこういうふうに虫が寄ってくるんでやめた方が…。

りび

それ先に行ってください！うわ～。

とき

ちょっと大丈夫かな、これ。

ナレーション

さて、いよいよ店長の案内で山の中に入る2人。

りび

虫取りに行く時って何人で行くんですか？

店長

基本、僕は1人です。

りび

1人で？「怖い！」みたいな感覚はないんですか？

店長

慣れてますね。

とき

ちょっと待ってください。こんなんありますけど。

りび

これ、なんの檻ですか？

店長

ここイノシシが出るんで。

りび  
イノシシ！？

とき  
めっちゃめっちゃ笑顔で言うてますけど。

りび  
でか！見たことない檻！こんなんあんねや。

#### ナレーション

その後、山の中で今回助っ人を使って出てくれた店長の虫取り仲間とも合流。  
最強の布陣でカブトムシ採りを開始。  
カブトムシやクワガタムシは木の樹液が大好物。  
樹液の流れ出ているクヌギの木を重点的に探していきます。

二人  
ここにはおらんな。

#### ナレーション

普段はよく見かけるコクワガタの姿も、この日は見ません。

二人  
なにこれ？罨みたいなやつですか？

店長  
うん。

#### ナレーション

実は店長。日中に果物の罨を仕掛けてくれていたのですが、  
なんとこれも空振り。

店長  
罨やけど、全然食ってない。

#### ナレーション

山に入りおよそ1時間が経過。未だカブトもクワガタも発見できず。

二人  
難しいんかな…。

ナレーション

弱音も聞かれます。さらに山奥へ入ろうとしたその時です。

友人

いますやん、ここに！

二人

どこですか？ドコドコドコ？うわ、おった！いました！  
すげえ、おった。これはなんですか？

友人

これはノコギリクワガタのメスです。

二人

え～！クワガタのメス？やっと発見できた。

ナレーション

ついにクワガタをゲット！そして、これをきっかけにさっきまでのことが  
嘘だったように次々とクワガタを発見！

二人

今、樹液を吸ってます。

ナレーション

そして、ついには。

りび

でか！見てあれ。

とき

でかい！すげえ！せっかくのカブトムシやから行ってみろ！

ナレーション

ここは虫嫌いのリピートが確保に向かいます。

りび

あ～！無理無理。

とき

ついにカブトムシ捕まえました！

ナレーション

その後も、なんとカブトムシのつがいを発見。

りぴ

ということで、本日の成果は…

とき

カブトムシ オス2匹、メスが1匹。コクワガタのオス1匹、メス1匹です。

りぴ

すごい獲れた！

ナレーション

ここで店長が虫取りのマナーを語ってくれました。

店長

今回、採取したカブトムシ、クワガタはその場で逃すか、責任を持って死ぬまで飼ってください。

りぴ

なるほどね。死ぬまで責任を持って飼ってあげるか二択ですね。

ナレーション

そして、最後はお店に戻って飼育方法を教えてもらいました。

二人

店長よろしくお願いします。

店長

まずケースですね。

とき

わりと大きいケースですね。

店長

これぐらいのケースでペアを飼っていただけんなら充分です。

ナレーション

そこに、カブトムシ専用の腐葉土をたっぷりと入れます。

とき

めっちゃめっちゃ入れますね？

僕。こんなに入れてなかったですわ！飼ってた時。

店長

10センチはあった方が良いでしょう。

ナレーション

そして、餌の昆虫ゼリーは頭数分入れてあげること。

これによりオス同士の喧嘩も減るそうです。

最後に添え木を入れれば完成。

カブトムシは日中、土の中に潜るため、三日に一度程度は霧吹きで

土に湿気を与えます。カブトムシの寿命は1年。夏が終わると

その生涯を閉じますが、しっかりと卵を産んでくれば、

翌年、新しいカブトムシを迎えることができます。

りび

というわけで、カブトムシとりに行ったわけですけど。

とき

どうやった？カブトムシ、好きになれた？

りび

最初は近づくのも嫌やったけど、このロケで触れるくらいにはなったから、

大分好きになったかな？しかも、何がでかいって絆が芽生えたのは

でかいかな。虫取りに行くと絆が芽生えるんで、この夏を利用して

お父さんや友達と是非行ってみてください。

とき

今年の夏もみんなでカブトムシとりにいこー！

りび

行ってみて！！

廣川

すごい！たくさん捕まえてましたね。

田村：

そうですね。すごかったですね。

「行こかー」のノリは“ゆりやん”やけどね。あんまり言いたくないけどね。

廣川：

でも、すごい楽しそうでした。

田村：

確かに一致団結するから、絆というか、チームワークは芽生えるやろうね。

廣川：

見つけた時のテンションの上がり方っていうのが、またね。

田村：

「おった！おった！」とか「うわー！」って言ってる感じが少年に戻ってて微笑ましかったですね。

廣川：

大人も子供心を思い出すような感じがありましたね。

田村：

能勢すごいな。フレンドシップ協定みたいな、あるんですね。

廣川：

「友好交流都市」ということなんですね。

田村：

だからか分からないですけど、能勢町出身の大西ライオンと僕めっちゃ仲が良いんですよ。

廣川：

そうなんですか！？

田村：

はい。たまたま奇跡的に。

廣川：

やっぱりフレンドシップが？

田村：

そうそう。そのおかげでかな？

（大西）ライオンとは、やけに気が合うんですよ。

廣川：

そうですか。

田村：

バスケット仲間っていうのもありますけど、ライオンと麒麟でよくご飯食べに行ってるんです。

ライオンが言ってましたけど、学校の授業で、

その先生が変わってたっていうのもあるらしいけど、猪を捌く授業とかあったらしいんですよ、山で獲れるから。

先生が獲ってきたのか、猟師さんから買うんか分かりませんが、授業で裏山で猪を捌くんですよって。

廣川：

食育ですね。身近にそういう動物がいたりするんでしょうね。

田村：

いいですね。お互い無い物を補い合って。

廣川：

自然もいっぱいありましたしね。

ちょっと行ってみたいなって思いましたね。

田村：

能勢町から貰った資料なんかわからへんけど、

すごい写真の数々でしたもんね。だいたいああいうのって2枚くらいやけど、7枚くらい使ってなかった？

廣川：

四季折々のね。

田村：

雪山から何から「そこまでいるかな？」って思ったけど。

廣川：

そんな能勢町ですけど、（吹田）市内から車で40分で行けるんですよって。

田村：

ちょうど良い距離やん。

廣川：

夏休みにぜひ能勢町に行ってみるのもいいかもしれませんね。

田村：

うちの子供も最近、虫取り虫取りって言ってるんですよ。  
だから、連れて行ってあげたいな～と思いました。

廣川：

このVTRの舞台となった能勢町では8月5日から  
「昆虫から見た能勢の自然展」が開催されるということで、  
能勢に生息する虫の標本などが展示されているということです。

田村：

へえ～、行ってみようかな。子供興味あるかも。

廣川：

ぜひ皆さんも遊びに行ってみてください。

田村：

夏に向けて良い情報でした。

VTR③\_ワンポイント手話（1分）

## 田村裕のすい散歩

VTR

田村：

こんにちは。すい散歩のお時間でございます。  
さあ今日はですね、健都にやってまいりました。  
後藤市長が最後の石をはめたKENTOの文字もあります。  
国立循環器病（研究）センターも動き始めてるんですよ。  
そしてピエラ、買い物もできますし、前回「お元気」でも取り扱いまして、  
メニューなんかも健都ならではのメニューがあったりするということで  
お近づきの際にはお立ち寄りいただきたいんですけども、  
今日は何をするかと言いますと…ジャジャン！  
「健都」健康を作る町ということでございますから、  
「普段から心がけている健康法は？」というのを市民のみなさんに  
聞いて回ろうじゃないかと…、  
素晴らしい健康法なんか出てくるんじゃないだろうかということで、  
聞いてみましょう。

女性1：

ピラティス。

田村：

おー！すげー！ピラティスってどんなんなんですか？

女性1：

インナーマッスルを鍛えるみたいな。

田村：

似合わないですねー。  
なかなかこの上品な奥様からインナーマッスルという言葉が出てくるとは  
思わなかったんで。

女性1：

転ばないようになるべく自分の力で最後まで頑張れるように…。

田村：

この体勢で持ち続けるというのは、インナーマッスルならではの（笑）

女性2：

歩いたりとか…

田村：

どれくらい距離歩くんですか？

女性2：

1キロ以上。

田村：

へーすごいですね。

女性2：

1駅・2駅分くらいは。

女性2：

隣町の千里丘まで行くし、歩いていきますよ。

田村：

えー！ほんまですか！ちょっと距離ありますけどね。千里丘やったら。

女性2：

そうですね、ありますけどでも全然平気ですよ。

歩いて市役所までも行きますし。

田村：

えー！結構あるよ！？

女性2：

あります、あります。

田村：

そうですかー、すごい元気。楽しく？

女性2：

楽しく…。

田村：

それが一番ですよ。やっているとことよりも楽しんでることが一番の健康法かもしれないですね。

女性2：

自分が楽しいと思ったら…。

田村：

おー素晴らしい。

女性2：

一人の時もあるし、子ども2人連れて。全然どこでも行くし。

田村：

えー。「あー今日もやらなあかんわ」と思いながらやるんじゃないくて、  
楽しみながらやるのがなによりもの健康法っていうね。

いやーこれはいい答え頂きました。

男性1：

健康法はね、朝ラジオ体操。

田村：

おー！毎日？

男性1：

はい。あとは黒酢。

田村：

おー黒酢？

男性1：

黒酢を飲む。

田村：

黒酢はどれくらいの量飲むんですか？

男性1：

コップ1杯。

田村：

へー、必ず？

男性1：

そうね、朝ね。

田村：

へー、どれくらい続けていらっしゃるんですか。

男性1：

もう5年ぐらい。

田村：

おー、変わりました何か？

男性1：

ちょっと元気になった。気持ちね。

田村：

なんで始めたんですか？きっかけは？

男性1：

コマーシャルで…やってたから。

田村：

ベタですね。シンプルに。いいかもな～と思って？

女性3：

いつもの人。

田村：

いつもの人（笑）

女性3：

吹田ケーブルテレビ。

田村：

ありがとうございます。ジェイコムです。見てくれてるんですか？

女性3：

見てるよ。たまに遅い時間やけど。

田村：

あーそうですか。

普段から心がけている健康法ってあたりしますか？

女性3：

私は歩くこと。夕方いつも40分、雨でも。

田村：

雨でも？傘さして？えー！

女性3：

友達と喋りながら、季節の花を見たり。

田村：

あーいいですねー。

女性3：

そういうことをしたりしてね。

田村：

最近発見ありました？散歩してる中で。

女性3：

大きな4軒の家やったのが14軒建ってん。その中で。

それを「上手に建てたはる」言うてね、感心してんねん。ガレージもつき。

田村：

いいですね（笑）トークテーマがローカルでいいですね。

地域密着型ということでね、本当に歩いてはるのがわかります。

嘘じゃないなという…。

田村：

元気そうなお姉さんがきました。お仕事中？

女性4：

違います。

田村：

なんの格好ですか、これは？

女性4：

そこにジムあって…、行ってました。

田村：

あー運動してきたの？

何か普段から心がけている健康法ってありますか？

女性4：

んー、ジムに通う。

田村：

ですよ。今のトークはそうですね。それ以外は？

女性4：

いつもギリギリなんで家から駅までめっちゃダッシュします。

女性4：

徒歩は15分ぐらいを、最高記録が4分！

田村：

（笑）ええねん、記録とか。

それ健康法ちゃうわ。遅刻しかけてるだけや。

田村：

というわけで、皆さんの健康法をお伺いしました。

やっぱりみんな、それなりに食生活に気を付けたりとか、

ちょっと運動しとかなあかなということをやってらっしゃるんだなと

思いましたけど、やっぱり「楽しむという健康法」が

一番なによりも大事なのかなという、深いお答えもありました。

僕も人生楽しんで生きていきたいと思います。

次はあなたの街に行くかもよ！

スタジオ

田村：

続いては市内の出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。

廣川：

今回も2つの話題をお届けします。

## ナレーション

7月1日、国立循環器病研究センターがいよいよ健都に移転開業。  
6日には記念式典が行われました。

式典には、医療関係者や地元関係者などおよそ370人が参加、  
国立循環器病研究センターの小川理事長が、  
「健都が日本の代表的な健康医療都市として認められるように、  
職員一丸となって努力したい」と抱負を述べ、後藤圭二市長が  
「健都の街はここからスタート。みなさんの周辺、海外も含めて  
PRをお願いしたい」と話しました。

さて、こちらは小児科外来なんですが、壁に子どもたちにも  
おなじみの“スヌーピー”とその仲間たちが描かれていまして、  
なんと式典にもスヌーピーとチャーリー・ブラウンが駆けつけました。

この内装、「難病の子供支援」を目的とした社会貢献の一環として、  
ユニバーサルスタジオジャパンを運営する「合同会社ユー・エス・ジェイ」が  
手掛けたものなんだそうです。

この開業で健都もいよいよ本格的に動き出します。

## ナレーション

7月13日、浜屋敷で「ぽかぽかひろば」の「みずあそび」が開催されました。

「ぽかぽかひろば」は、浜屋敷の若手ボランティアなどが中心となって運営しており、小学3年生までの子どもたちを対象に年5回開催しています。

この日の「みずあそび」では、浜屋敷の庭に2つのミニプールが登場し、小さいプールにはなんと滑り台。子どもたちが楽しそうに遊んでいますね。

大きいプールでは、子どもたちとボランティアのお兄さんお姉さんたちが水をかけ合いっこしたり、みずあそびを満喫していました。

ちなみにこちら、大きいプールに設置されたウォーターマシーン「ザブーン」は、浜屋敷のボランティアさんの手作りだそうです。

このほかにもスーパーボールすくいやシャボン玉ができたり、スイカが振る舞われたりと、子どもたちは時間を忘れて「ぽかぽかひろば」を楽しんでいました。

インタビュー 女の子

（水の）かけ合いとかして楽しく遊んでた。

インタビュー 女の子

水が溜まって勢いよく出てくるところがすごかったです。

インタビュー お母さん

すごく楽しかったですし、こういうふう小さい子どもたちとかお兄ちゃんとふれ合う時間がとれて、良かったと思います。

廣川

楽しそうでした。（こどもたちは）本当に水好きですよ。

田村：

確かに好きやった。異常に好きやったわ。

廣川：

目がキラキラしてましたね。

田村：

あれだけはしゃげたらいいね。夜ぐっすりやで、みんな。

廣川：

ただ、この日は小雨交じりの中の開催だったということで、  
例年に比べたら来られている方は少なめだったということなんですね。

田村：

あれでも少なかったんや。

廣川：

そうなんです。  
8月24日（土）の午後1時～3時にもう一度開催予定だということです。

田村：

じゃあ、あの手作りの「ザブーン」もできるんや。

廣川：

あれはテンション上がりますよね。

田村：

連れてってあげたいな。

廣川：

手作りっていうのがすごいですね。

田村：

すごいね、ボランティアの人。そんなん作れるんや。

廣川：

ぜひまたお兄ちゃんお姉ちゃんたちとも。

田村：

ぜひ参加してください。

廣川：

以上、トピックスでした。

さあ、エンディングでございます。あっという間ですね。

田村：

ええ感じに腹減ってきました。昼前やから。

廣川：

この番組はジェイコムチャンネルで毎日放送しています。

月曜日から金曜日はお昼 12 時と夜 10 時から、

土日はお昼 12 時から放送しています。

また市のホームページでもご覧いただけます。

スマートフォンでチェックすることもできますからね。

「吹田市 お元気」で検索してみてください！

田村：

ときヲりぴーとがスタジオに来る日はいつなんでしょうか？

それでは、また次回お会いしましょう。さようなら。

廣川：

さようなら。